



与勝調理場 Tel: 098-978-3522

令和7年度 1月ハッピーランチ

食育の目標：学校給食の歴史と役割について知ろう



あけましておめでとうございます



去年は、農家さん、漁師さん、業者さん、調理員さん等、多くの人の力で皆さんのもとに給食を届けることができました。また、与勝調理場では、地域農家さんが育ててくれた野菜や芋類（人参、玉葱、パパイア、冬瓜、きゅうり、小松菜、からし菜、赤瓜、レタス、ねぎ、にら、キャベツ、もやし、じゃが芋、紅芋、さつま芋、黄金芋）を給食で使うことができました。地元で大事に育てられた産物をいただけるということは、「作り手の顔が見え、安心。」「新鮮で味がよく、傷みにくく栄養素が残る。」という良さがあり、とても恵まれていることだと思います。2026年も、給食からたくさんの方が皆さんを応援していきます。しっかり食べて、健康な体をつくっていきましょう！



1/24～1/30は
「全国学校給食週間」です

学校給食の意義や役割について理解を深め、「食」について改めて考える特別な一週間です。給食の話題を家庭でも共有していただけると嬉しいです。



学校給食の始まり

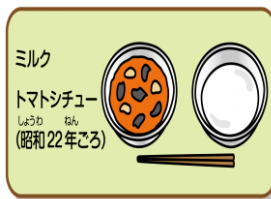
- 明治22年に、山形県の小学校で弁当を持ってこれない子ども達に食事を提供したことが給食の始まりです。
- 大正12年には、子ども達の栄養状態を改善するために給食が国から奨励され、全国へ広がりましたが、その後、戦争の影響で食糧不足になり給食を実施することができなくなりました。

支援物資による学校給食の再開

- 戦後、子ども達の栄養状態の悪化を心配する声が高まり、昭和21年12月24日にLARA（アジア救援公認団体）から寄贈を受けて、給食が再開されました。

バラエティー豊かな献立内容に

- 昭和29年に「学校給食法」が成立。学校給食は教育活動として位置付けられました。主食はパンが中心でしたが、昭和51年に米飯が導入されると、ご飯を中心に献立内容が充実していききました。



お腹を空かした子ども達を助けないという気持ちから始まった学校給食。

現在では、給食を「生きた教材」として、食に関するさまざまなことを学ぶ役割も担っています。

与勝調理場の学校給食週間

26日～30日は、日ごとにテーマを持った献立です。

～給食時間の放送と資料を配布しますので、しっかり聞いて、見て、学び、味わってください～

26日 給食のはじまり	27日 琉球料理	28日 うるまじみゃーくの二十歳祝い	29日 栃木県宇都宮市献立	30日 岩手県盛岡市献立
 こくとうアガラ（中学のみ） やきざかな つけもの ごはん みそしる	 ミヌダル クーペイリチー ごはん イナムドウチ	 まぐろのもずくあんかけ パパイアのあえもの そばの具 うるまじみゃーの みやこそば麺 コラボそば（しる）	 いちごのスティック ケーキ モロフライ かんぴょうのごまずあえ ●ニラたまじる（たまご） ごはん	 きりせんしょ とうふのおろしかけ りんごとキャベツのさっぱりあえ せんべいじる ごはん

1月の行事食・特別献立

給食時間の放送（給食一ロメモ）で紹介いたします。

6日 新年お祝い

7日 七草

9日 鏡開き

19日 食育の日

22日 カレーの日